

2つ目は、向上心が身に付いたことです。もっといろいろなことに挑戦してみよう、こんなことをやってみようなどの新しい気持ちが出てきました。

最後に僕は、この研修を通して学んだことを、今後の生活に役立てていきたいと思っています。

2年1組 新田 晟生 (サブリーダー)
「サマーキャンプに行つて」



新田さん(右)

僕がサマーキャンプに行つて学んだことはポジティブになるということです。僕は今まで心が弱く少しのことで自分をけなすようなことを言っていました。しかしアメリカに行つて英語で話さな

ければならない状況になったとき、自分はダメだとか言つてる場合じゃないと気付きました。このことに気付けたのは、このサマーキャンプだったからこそだと思います。今回は本当にサマーキャンプに参加することができてよかったです。

両親や祖父母、町の方に感謝してこれから前向きに自分をけなさず明るく生活していきたいです。今回は本当にサマーキャンプに参加させていただきありがとうございました。

2年1組 仲野谷 結愛
「家族の優しさ」

私は主にコミュニケーション力を高めるということを目標としました。初めは周りの人々が何を話しているのかまったく理解できませんでしたが、私たちの学んできた英語が通じるかとても不安になりました。

しかしホストファミリーはゆつくり丁寧に分からな

れました。そのおかげで後半には質問したり、答えた



仲野谷さん(左から2番目)

この7日間のホームステイを通して、英語の発音の仕方、アメリカの食文化について実際に体験し学ぶことができました。また目標としたコミュニケーション力の向上も達成できたと思います。

2年2組 松本 連
「研修を通して学んだこと」

この研修を通して多くのことを学びました。中でも特に違うと感じたのはアメリカと日本とのコミュニケーション

文化の違いです。それはニックネームをよく使う、ジョークが多い、誰にでもフレンドリーに話し掛けるなどといったことです。

僕は今まで知らない人に話しかけることが苦手でしたが、ホストファミリーとの生活でアメリカのコミュニケーションにより、苦手なことを克服できたと思います。

今回の研修を経験できたことに感謝し、この気持ちを忘れることなく今後に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございます。



松本さん(中央)

2年2組 伊原 乃紅
「言葉の壁を乗り越えて」

私は今回、町の代表の一員としてアメリカ研修に参加す

るにあたって「アメリカの本場の英語の発音を少しでも習得し、コミュニケーション力を高める」という目標を立てました。いざ本場の英語を自分の耳で聞いたときに、初めは何を言っているのかわかりませんでした。



伊原さん(左)

しかし毎日英語をシャワーを浴びているかのように聞いていると少しずつ理解できるようになっていきました。このような環境で生活していれば自然と英語が身に付くだろうと感じました。

グレンロックは、人々がとても温かく小野町と同じで自然豊かな町ということを知りました。研修を機に、自分の将来の可能性を広げていきたいです。